

常任委員会報告

6月16日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会（6月20日）

質問 「小城市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例」について、今、基金はいくら貯まっているか。運用方法がこれまでとどう違うのか。

答弁 令和6年度末時点の残高で、6,737万5,959円である。企業版ふるさと納税を、翌年度以降の事業に充てるように、企業から提案があった場合、基金に積み立てをし、翌年度以降に使用できるようにする。

質問 令和7年度小城市一般会計補正予算のうち広報費「ケーブルテレビ番組制作放送事業」について、予算が可決された後に、どのような契約方法を考えているか。また、今回、市長が代わって、番組制作の内容や、市の意向が、どのように変わっていくのか。

答弁 小城市内でケーブルテレビを放送をしている事業者と、随意契約を予定している。令和6年度までは、市長が市内を散策しながら紹介する番組「おぎぶら」の放送を行っていた。内容の見直しも踏まえて、今後は、市で頑張っている人や団体等を紹介するような番組を作っていきたい。



文教厚生常任委員会（6月24日）

質問 「小城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び小城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」について、市内にはどのような施設があるか、対象年齢は何歳か、連携先の園は。

答弁 小規模保育園A型が4園、事業者内保育事業が1園。すべて0歳から2歳までの園児を預かっている。連携については、小規模保育園おほが牛津こどもの森と三日月幼稚園、砥川みのり小規模保育園が砥川みのり保育園と砥川保育園、小規模保育園みらいがあしかりこども園、みどり保育園がたね保育園、ひらまつ保育園がいわまつ保育園となっている。

質問 令和7年度小城市一般会計補正予算のうち「健康スポーツセンター維持管理基金繰入金」について、現在の基金残高はいくらか。

答弁 令和6年度末現在で6,823万7,315円。

質問 「母子衛生費乳児健康診査事業」について、新生児聴覚スクリーニング検査はどのような検査で、どのようなところで受けるのか。

答弁 出産された産科で概ね生後3日以内に専用の機械を使って行い、要再検査となったら概ね生後1週間以内に確認のため再検査、その確認検査で精密検査が必要とされたら、生後3か月以内に精密検査となる。必要な場合は医療機関へつなげる形で対応したい。

質問 「母子衛生費歯科保健事業」について、母子健康手帳交付後何か月くらいまでに歯科健診を受けるのが理想と考えているか。

答弁 つわりが収まる妊娠4か月から5か月ごろに受診して比較的体調の安定した妊娠中期に治療を行っていただきたい。

産業建設常任委員会（6月23日）

質問 「小城市下水道基金条例」について、県からの補助金の全部を基金に入れるのか。

答弁 県の補助金交付金要件では、基金として5年間以上積み立てて、起債の一部として取り崩していくこととなる。

質問 令和7年度小城市一般会計補正予算のうち農地費「多面的機能支払交付金事業」について、田んぼダムに対する補助は。

答弁 申請から3年間は10アールあたり2千円、4年目からは半額の千円となる。

質問 観光費「（新規）芦刈地区観光資源再生事業」について、港湾背面の浚渫工事による生態系への影響は。

答弁 この場所は陸地化している。その泥土を除去して地盤を下げることによって、今まで近づけなかったムツゴロウが戻ってくると想定している。

質問 都市計画総務費「都市計画運営事業」について、専門部会のメンバーは。

答弁 庁舎内の部会になり、約10部会を想定している。別に策定委員会があり、外部の有識者として大学の先生などのメンバーを想定している。



▲海遊ふれあいパーク干潟体験場の浚渫工事